

第5回石川町振興計画審議会

日 時 平成20年8月8日 午後7時から9時20分まで
場 所 本庁舎 石川町総合体育館ミーティングルーム
出席者 高原教育長、丹内教育課長、瀬谷企画調整課長、添田企画係長、佐川主査
西川会長、渡辺副会長、相楽委員、水野委員、吉田委員、深谷委員、添田好史委員
添田一文委員、斎藤委員、山口委員、添田京子委員

進行 企画課長

発言者	内 容
西川会長	本日は具体的な計画の中身に入るそうです。教育・文化は国の礎と言います。委員の皆さんには、忌憚のないご意見をお願いします。 では、資料について説明をお願いします。
丹内課長	資料「豊かな心と文化を育むまち」について説明する。
西川会長	重要な案件ですので、先に小・中学校の統合再編について説明をお願いします。
教育長	小・中統合再編についての考え方を関係資料とともに説明する。
西川会長	今まで受けた説明に意見・質問等がある方はお願いします。
深谷委員	生涯学習の拠点の公民館ですが、公民館の仕事が多くなってきてはいないか。地域の公民館の在り方について施策が明確でないと現場は混乱するのではないか。
丹内課長	公民館が一人の体制になって4年が経った。地区公民館は地域で重要な役割を果たしている。今後の方向性については12月までにまとめるため教育課で論議している。地域の方々が運営する公民館にしようとして話し合っている。第5次総合計画には、学校再編、公民館の今後の考え方を決定次第反映させていく考えです。
深谷委員	現在、館長と事務補助員がいるが、毎日いるわけではない。館長だけで公民館を運営するのか、職員を別に配置するのか。
教育長	町民のニーズが多様化している中、公民館の姿をどう考えていくのか。以前は町が指導するという受け身の社会教育であったが、現在は自分でやってみたいという考え方が多くなってきた。中央公民館と地区館の整理も必要だが、町では、地域が運営する自主公民館という方向で考えている。
深谷委員	今の館長はよくやっている。町の目指す公民館運営がレールに乗るまで指導が必要であると思う。館長の後継者や公民館運営を軌道に乗せるために手助けできる人づくりをしてほしい。
西川会長	地区まちづくり計画の拠点は公民館です。現在のスタッフで対応できるのか。 財政が厳しければ、教育・文化の予算は削られる。公民館の年間予算は約30万円、月3万円で運営できるのか。生涯学習の充実について意見をいただきたい。 また、石川町では、今回の計画で初めて数値目標を入れたようだが、この目標に特化した理由と算定方法をお聞きしたい。
教育長	数値目標の設定理由等については、把握していませんので後日お答えしたい。
西川会長	数値目標を算出した根拠が明確でなければ、設定しても意味がない。
瀬谷課長	基本計画については、まだ作業中なので、他の分野についても設定理由や算定基礎を明確にするよう話しておきます。
西川会長	他の課にも言ってほしい。

発言者	内 容
深谷委員 教育長 深谷委員 教育長	現在行っている海外研修は計画のどこに位置づけるのか。 学校教育の充実の中の⑤情報化教育と国際理解教育の推進に位置づけられます。 彼らが帰ってきて、日常生活にそれを生かす場面があるのか。 研修に行った本人が英語の授業に一生懸命取り組む姿が、他の生徒にも生かされている。また、研修の時は日本の中学生の代表として振舞ってほしいと話している。こういう経験が今後の生活に生きてくるのではないかな。
深谷委員 教育長 深谷委員 教育長	できれば、毎年研修に行った生徒の発表が行われてもよいのではないかな。自分が体験したものを全体に還元する機会があってもよいと思う。 そのご意見は計画に盛り込んでいきたいと思います。 町の負担はどのくらいかな。 研修費の1／2です。今回 280,000 円費用がかかりましたので、140,000 円が町の負担となります。
深谷委員 教育長 相楽委員 教育長	資金源はふるさと創生基金かな。 そうです。 学校の統合は、財政的にメリットがあるのか。 財政的な面で学校の統合を考えてはいないので、明確にはお答えできません。少し時間をいただいて調査し、後日お答えいたします。
水野委員 教育長	以前、中学校を統合し1校にしようとしたとき、沢田は地区民が団結し反対したので現在沢田中があるのだが、中学校の適正規模とはどのくらいなのか。 国は12学級以上が適正規模といっている。その基準からいうと、中学校1校が適正規模だと考えます。
水野委員 教育長	食の教育とはどういうイメージなのか教えてほしい。 地産地消の考えをもとに、地元で取れた安全・安心・安価なものを利用して、学校給食を充実させて行きたいと考えています。また、学校給食については町がやるべきものなのか、民間がよいのかも検討して行きたい。
水野委員 教育長	熱塩加納村では、栄養士が食品に含まれる添加物についても子供に教えて、食の安全について指導しているようだが、町ではどうなのか。 去年は野木沢小・沢田小で、今年の中谷第1小で県中教育事務所から指導主事がきて、スーパーでの買い物するものの中に含まれる添加物などの指導を行っています。
西川会長 山口委員	他にはありませんか。 財政面で小中学校の統合を進めていると思っていたので、子どもの教育を考えて、統合を検討していると聞いて驚いた。外国では子供の能力に応じた教育で成果を上げている。複式学級がよくないということではなくて、小規模校でもよい教育はできるのでないか。西川会長は寺子屋などもやっていたので何かご意見はありませんか。
西川会長 教育長	小中学校は義務教育のため、私立の学校と比べると難しいのではないですか。 義務教育は、国が責任を持って実施しているものです。少人数でもいいですが、群れて遊んでお互いに切磋琢磨することも必要だと思います。小学1年生から6年生まで、同級生が二人、もし男女1名ずつであればあまり話も合わないのではないかな。た

発言者	内 容
教育長	くましい子どもを育てるためにも、大人数で切磋琢磨したほうが良いと思います。 また、外国では少人数でも先生はつくが、日本では児童数が減ると先生も減らされてしまいます。
添田好史委	私も子供が4人いる。学校は地域で生きるための核になっている。町民の所得も減っているし、遠くまで通勤している人もいる。時間もない、お金もないという人が増えている中で、子どもを遠くの学校へ通わせるというのでは、みんな便利な所へ引っ越してしまう。ここでは、そういう親について、どのように考えているのかを聞かせてほしい。
添田一文委	生涯学習についてですが、私は母畑が地元なので、母畑公民館では太極拳教室、中央公民館では私も受講していたのでパソコン教室を実施しているのは知っていますが、他の公民館では何か特色ある事業を実施しているのか教えてほしい。
丹内課長	特色ある事業をいいますと、沢田公民館が油絵教室・書道教室、野木沢公民館ではダンベル体操、母畑公民館はグランドゴルフ、中谷公民館はレディースセミナー、メンズセミナー、山橋公民館では、山橋子供クラブなどがあります。
斉藤委員	学校の統廃合について、石川に集まるのではなくて、石川が分散すればよいというのは面白い考えだと思う。
西川会長	学校統合関係で他に意見はありますか。
添田京子委	小学生929人、中学生549人とありますが、石川では何校くらいが適正なのか。
西川会長	930人位だと理想的には何校くらいが適正なのか。
教育長	930人だと一般的な学校だと2校くらいだとおもいます。
山口委員	オランダでは、統合した学校を現在はお昼に家に帰れる距離に分散しています。ヨーロッパは教育が進んでいるので、統合の後は分散という方向に向かうのではないですか。
添田好史委	統合はどうであれ、何か新しい考え方はないのか。皆が一緒に学習する機会を増やすとか、子どもたちを融合させれば統合しなくてもやっていけると思う。統合する側はよいが、統合される側は子供を遠くまで通わせなければならない。財政が厳しくて通学費の助成ができないのなら、親の負担を均等にしてほしい。
教育長	統合推進委員会でも将来の石川の教育像をきちんと作ってほしいといっている。複式を解消して、石川の子供の教育をどのようにするか考えていきたい。
相楽委員	統合について、国・県からの指導はないのか。
教育長	ありません。
水野委員	例えばパソコンを操作していて迷った時に誰聞けばよいか分かれば便利だと思う。〇〇名人のようなものを作ってはどうか。
西川会長	それについては、生涯学習ボランティア情報に記されています。 学校教育の中で、高等学校教育が記載されていないがどうなのか。
教育長	義務教育の面についてだけ考えていたので、高等教育については、あえて記載しませんでした。

発言者	内 容
西川会長	教育は産業です。計画の中に県立石川高校、学法石川高校が入っていないのはおかしいと思うのですが、皆さんの意見はどうですか。
斉藤委員	石川町で学んで良かったと思わせる教育があってもよいと思う。
教育長	計画に中高連携についても記載したいと思います。
西川会長	高校に行くのもお金がかかります。奨学金についても記載したほうが良いと思います。
深谷委員	文化の振興で3点ほどお聞きします。1点目が地区公民館の図書の蔵書は何冊までと決まっているのか。2点目が地区公民館に新しい図書は入っているのか。また、古い図書が眠っているという現状から言うと、図書館の機能はどうなのか。3点目は、古い図書の活用として、中央公民館と地区公民館の図書の交流はあるのかをお聞きしたい。
丹内課長	1点目の質問についてですが、公民館に図書何冊という基準はありません。公民館によって農業書が多いとか小説が多いとか蔵書に特色はあります。図書数については地区公民館で冊数まで把握しています。 2点目についてですが、新書は購入しています。今後、町全体の図書委員会を立ち上げて、新書の購入や古い図書の分類などを行いたいと考えています。 3点目についてですが、中央館と地区館の図書の交流は行っていません。しかし、県立図書館などにある石川町にない図書について、貸出できるなどの交流は行っています。
深谷委員	中央館と地区館の図書の交流は考えてはいないのか。
丹内課長	交流より蔵書の整理が先だと考えています。希望があれば検討したいと思います。
瀬谷課長	地区館の図書は古く利用されていない。それを交流してもどうなのか。新たな図書委員会で考えていきます。
西川会長	図書の充実や利用促進も計画に記載してはどうでしょうか。 数値目標の中で総合体育館日中利用者が1,100名、1日にすると3名だが実際どうなのか。
教育長	担当に確認いたします。
西川会長	他に意見はありませんか。
吉田委員	歩いて生活できる環境づくりを進めてほしい。 住民として地区公民館を盛り立てて残していきたい。
添田一文委	家庭教育の向上を図るとあるが、具体的に町はなにをやるのか。現場の先生が働きかけてやっていくのか。
教育長	家庭に問題があっても家庭には介入できない。しかし、PTAなどを通して、テレビを消してもらう時間を作って親子のふれあいに使ってもらうなどの活動をしていきたい。
添田一文委	社会で生活するための力だけでなく、人間力を高める教育も必要だと思う。福島県では医師不足のため、医師を目指す学生に生活費や学費を出してくれる制度があるという。小中学生からお金がなくてもそういう制度があることを教えてほしい。

発言者	内 容
添田一文委 西川会長 教育長	へき地勤務をすれば、奨学金を返さなくてもよいと聞いている。 P 2 6 ページの③、「豊かな人間性の育成」とは具体的にどういうことか。 町では「おじいちゃん、おばあちゃんへの手紙コンクール」などを通して、子供たちに命の大切さを教えていく事業を進めていきたい。 また、教育の振興計画を作成し、議会を通して公表することで、どのような教育目指すのかを明確にしていきたい。
添田好史委	今の子供たちはどうやって生きていくのか今一步見えていない。目的が感じられない。なぜ生きているのか、将来社会に役立っていくのか。家庭教育、学校教育、社会教育が三位一体となり、どういう構想で子供たちを育てるのかというのがあってもよい。また、全世帯の 8 5 % にパソコンが普及しているという話もあるので、情報化教育にインターネットへのアクセスの指導を入れたほうがよい。
西川会長 添田京子委	弊害もあるのか。 豊かな心とは道德心のことなのか。今、子供への声かけが問題になっているが、大きな学校の子供たちへあいさつをしても返事が返ってこない。しかし、小さな学校の子供たちへあいさつすると大きな声であいさつが返ってくる。こんなに差があるのはどういうことなのか。
教育長	私のところには、毎日のように国・県・警察などから子供たちへの犯罪に注意するよう通知が入る。過剰反応をするわけではないが、犯罪が起こってからでは遅いので、知らない人から声をかけられても無視しなさいと教えることもある。学校によって違いがあるのは、地域の状況により学校で判断し指導しているためです。
西川会長	添田さんの話は、「教育の真髄は信じること」につながるものだと思う。今はその「信じること」をしっかりと教えてほしい。
教育長 渡辺委員	子供が犠牲となる事件が起きないよう防衛的になっていることもある。 教育の担い手である先生のことについて記載があってもよいのではないか。先生にもいろいろな人がいるので、良い先生に恵まれなければよい教育もできないのではないか。
教育長 山口委員	「教育は人である」と私も考えているので、良い先生を取っていきたい。 地域を知らない先生も多いのではないか。地域の特性を知らない先生が、子どもたちに石川の自然や歴史に誇りを持ってという教育はできないのではないか。
相楽委員	どこかの町では、町の一員という意識を持ってもらうため、教員に町職員のバッチをつけさせたという。
教育長 山口委員 西川会長	教員の資質向上に努めたい。 今は誰も先生を尊敬していないのではないか。 時間も迫ってきましたので、以上で審議会を閉じたいと思います。